

平成26年度 事業計画書

平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

1 事業実施の方針

特定非営利活動に関する事業として、教育界、情報処理産業界はじめ一般社会人、学生などの不特定多数の層を対象として、全国高専プロコンの運営および国際プロコン大会の開催、情報産業界と高専教育界の連携を図るためのセミナーの開催などを計画する。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施予定日程 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 受益対象者の範囲及び予定人数 | 支出見込み額(千円) |
|-------------|----------------------------|--------|--------|----------|--|------------|
| 高専プロコン運営事業 | 全国高専プロコンの運営(予選) | 6月 | 東京都 | 30名 | 応募学生・教員ならびに審査委員700人 | 14,300 |
| | 全国高専プロコンの運営(本選) | 10月 | 岩手県一関市 | 20名 | 全国高専からのコンテスト出場学生・教員及び産業界からの参加者一般市民約1000名 | |
| 国際コンテスト運営事業 | 国際プロコン大会開催 | 10月 | 岩手県一関市 | 4名 | 国外からの参加学生・教員16名 | 4,000 |
| 産学連携事業 | 情報産業界と高専教育界の連携を図るためのセミナー開催 | 1月 | 長野県長野市 | 2名 | 高専教職員及び高専学生など約120名 | 0 |
| | 記念講演会と情報交換会 | 2月 | 東京都 | 9名 | 高専校長・教職員など約45名 | 100 |
| | 情報産業界と高専教育界の連携を図るためのセミナー開催 | 10月 | 東北地区 | 3名 | 高専教職員及び高専学生など約70名 | 100 |
| 普及啓発に関する事業 | ホームページ等による交流活動の啓発 | 随時 | 法人事務局 | 2名 | 情報産業界、教育界全般及び一般市民など不特定多数 | 0 |

全国高等専門学校

第25回プログラミングコンテスト開催要項(案)

1. 主催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会(国公立高専の連合組織)
2. 共催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会(NAPROCK)、一関市
3. 後援(予定)

文部科学省、岩手県、岩手県教育委員会、公益財団法人日本教育公務員弘済会岩手支部、一関市教育委員会、一関商工会議所、公益財団法人岩手県南技術研究センター、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会、一般社団法人情報処理学会、一般社団法人電子情報通信学会、教育システム情報学会、独立行政法人情報通信研究機構、日刊工業新聞社、岩手日報社、岩手日日新聞社、NHK、IBC岩手放送、ICN一関ケーブルネットワーク、一関コミュニティFM、一関工業高等専門学校教育研究振興会、一関工業高等専門学校後援会、一関工業高等専門学校同窓会
4. 主管校 一関工業高等専門学校
5. 応募資格 国公立高専の学生(専攻科生を含む)
6. 協賛 特別協賛・一般協賛 20社以上を予定
7. 募集部門 パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の3部門で競う。
 - (1) 課題部門 「防災・減災対策と復興支援」をテーマにした作品
 - (2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品
 - (3) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
8. 募集期間：平成26年5月23日(金)～5月30日(金)
9. 予選(書類による審査)

日時 平成26年6月28日(土)
会場 関東ITソフトウェア健保会館・市ヶ谷会議室
10. 本選(プレゼン・デモ等による審査、競技は対抗戦)

日時 平成26年10月18日(土)～10月19日(日)
会場 一関文化センター (岩手県一関市大手町2-16)
11. 審査委員(予定)

神沼靖子(一般社団法人情報処理学会 フェロー)審査委員長をはじめ10数名
12. 表彰
 - (1) 課題・自由部門(各々)

最優秀賞 優秀賞 特別賞
 - (2) 競技部門
優勝 準優勝 第三位 特別賞
 - (3) 最優秀賞および優勝チームには、文部科学大臣賞、情報処理学会若手奨励賞が授与される。
13. 備考
本大会と同時に NAPROCK 第6回国際プログラミングコンテストを実施
NAPROCK 公式サイト：<http://www.procon.gr.jp/>
高専プロコン公式サイト：<http://www.procon.gr.jp/>
高専プロコン Twitter 公式アカウント：[@KosenProcon](https://twitter.com/KosenProcon)

「NAPROCK 第 6 回国際プログラミングコンテスト」大会概要 (案)
(NAPROCK 6th International Programming Contest)

1. 主催 NPO 法人 高専プロコン交流育成協会
2. 共催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会
3. 後援 全国高専プログラミングコンテストに準じる。
4. 協賛 全国高専プログラミングコンテストに協賛する会社から 3～5 社程度
5. 応募資格 日本：国公立高専の本科生および専攻科生
(全国高専プログラミングコンテスト本選に参加する者)
大学生（競技部門のみ。選考を行う場合も有り）
海外：大学生（国内において予選等により選抜された者）
6. 募集部門（高専プロコンに準じる）
パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の 3 部門で競う。
 - (1) 課題部門（「防災・減災対策と復興支援」をテーマにした作品）
 - (2) 自由部門（自由なテーマで独創的な作品）
 - (3) 競技部門（与えられたルールによる対抗戦）
7. 募集期間 2014 年 5 月 23 日（金）～ 2014 年 6 月 6 日（金）
8. 審査方法・日程
方法：課題・自由部門はプレゼンおよびデモによる審査，競技部門は対抗戦
日時：2014 年 10 月 18 日（土）～19 日（日）
場所：一関文化センター(岩手県一関市大手町 2-16)
9. 審査委員 全国高専プログラミングコンテストに準じる。
10. 表彰

| | | | |
|-----------------|-------------|-----------------------|---------------|
| (1) 課題・自由部門（各々） | 国際最優秀賞 | 国際優秀賞 | 国際特別賞 |
| | Grand Prize | Second Prize | Special Prize |
| (2) 競技部門 | 国際優勝 | 国際準優勝 | 国際特別賞 |
| | Champion | First-Runner-up Prize | Special Prize |
11. その他
 - ・全国高専第 25 回プログラミングコンテストと同時開催とする。
 - ・高専プロコン実行委員会および主管校が運営に協力する。
 - ・海外チームへの支援は、協賛状況と各国の経済状況を考慮して実施する。

【参考】

第 15 回大会（新居浜）

ハノイ工科大学（課題部門，競技部門）

【受入・支援】プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）

第 16 回大会（米子）

ハノイ工科大学（課題部門，競技部門），

モンゴル科学技術大学（課題部門，競技部門）

【受入・支援】(財)国際情報化協力センター(CICC)，
プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）

第 17 回大会（茨城）

ハノイ工科大学（課題部門，競技部門），大連東軟情報学院（課題部門，競技部門）

【受入・支援】プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）

モンゴル国立大学（課題部門）

【受入・支援】(財)茨城県情報サービス産業協会

第 18 回大会（津山）

ハノイ国家大学（課題部門，競技部門），大連東軟情報学院（課題部門，競技部門）

【受入・支援】津山高専，プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）

第 19 回大会（福島）

ハノイ国家大学（課題部門，競技部門），大連東軟情報学院（課題部門，競技部門），

モンゴル国立大学（課題部門）

【受入・支援】NPO 法人，プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）

第 20 回大会（木更津）

ハノイ国家大学（課題部門，競技部門），大連東軟情報学院（課題部門，競技部門），

モンゴル国立大学（課題部門），台湾国立聯合大学（課題部門）

【受入・支援】NPO 法人，木更津高専

第 21 回大会（高知）

ハノイ国家大学（課題部門，競技部門），大連東軟情報学院（課題部門，競技部門），

モンゴル科学技術大学（課題部門）

【受入・支援】NPO 法人

第 22 回大会（舞鶴）

ハノイ国家大学（競技部門），成都東軟学院（競技部門），

モンゴル科学技術大学（競技部門）

【受入・支援】NPO 法人

キングモンクット工科大学（競技部門）

【受入・支援】舞鶴高専

台湾国立聯合大学（課題部門，自由部門）

【受入・支援】木更津高専

第 23 回大会（有明）

ハノイ国家大学（競技部門）、成都東軟学院（競技部門）、
モンゴル科学技術大学（競技部門）

【受入・支援】NPO 法人

第 24 回大会（旭川）

ハノイ国家大学（競技部門）、成都東軟学院（競技部門）、
モンゴル科学技術大学（競技部門）

【受入・支援】NPO 法人

広報活動事業概要（案）

1. 事業の目的

公式ホームページ等により、本 NPO の活動を広く周知する。

2. 事業の概要

2-1 各事業に関する情報の掲載

本 NPO の事業の実施と連携して記事を掲載し、継続的な内容の更新を行う。

(1) プロコン事業

- プロコン本選に伴う結果の迅速な公開
- マスコミ掲載などの資料整理

(2) 国際プロコン事業

国際プロコン運営支援事業の運営に際して、情報の正確性とスピード化を通して国際チーム受け入れを円滑化するため、更なるホームページの英語版掲載の充実化を図る。

2-2 会員の入会促進

- 会員募集要項の掲載に留まらず、会員に対して今後計画予定の事業（情報産業界と高専教育界の連携を図るためのシンポジウム等）に対して広く理解を求め、活動協力を啓蒙する。
- 高専教員を対象として、個人会員の入会を促進する

2-3 その他

- プロコン 25 回大会を記念し、大会の記録や OB からのメッセージを収集
- 連合会ホームページとの連携を図る。
- コンテンツ全般の見直し実施。
- 個人会員向けメールマガジン等の配信。

産学連携事業概要（案）

1. 事業内容：情報産業界と高専教育界の連携を図るためのセミナー等の開催

1) セミナー／共催

実施予定日 平成26年1月
実施場所 国立長野工業高等専門学校
実施テーマ 「ICT基盤の変貌とIBCの起業から今後の展望」
受益対象者の範囲及び予定人数： 産業界 4名
教育界 2名
学生 100名

2) 講演会／情報交換会

実施予定日 平成26年2月
実施場所 関東IT健保組合
講演者 情報処理学会フェロー 神沼 靖子先生
講演テーマ 「教育の質保証とコンピテンシー評価
～評価基準策定の経緯と議論から～」

3) セミナー／主催

実施予定日 平成26年10月
実施場所 東北地区 高等専門学校
実施テーマ 「ICTに関する実践講座（仮題）」
受益対象者の範囲及び予定人数： 産業界 2名
教育界 4名
学生 100名

2. 事業概要：1) 高専教育界において産業界動向に触れる機会が少ないので、

講演会やセミナーを実施し、意見交換ならびに交流促進を図る。

2) 高等教育機関に学ぶ学生を取巻く就職に関する昨今の状況は非常に厳しいものがある中、高専学生は特別に恵まれた環境にある。高専の教育界は、このような状況に甘えることなく、社会が求める人材の育成に努める必要があり、企業もその発展性と求める人材像を明確に示し求人に当たる姿勢が求められる。毎年、実施地区を巡回する形式とし、今回は東北地区を会場でセミナーを実施する。

会員の企業等から高専の学生を対象に情報産業の最新動向や情報産業界で働くことの意義等々、最前線の話を通して、産官学の連携を密にする。